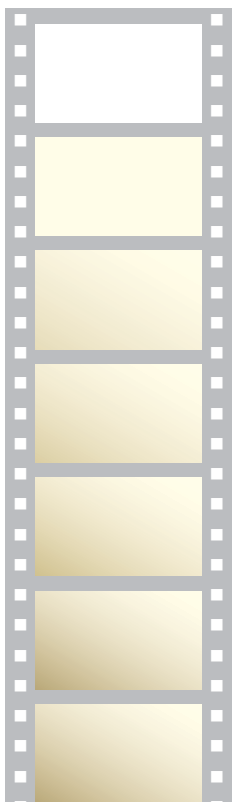


伸^{ノブ}さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第一回 「シネマテークからシネマトークへ」

今回から映画のエッセイをお届けする担当DJ（ディスクジョッキー）の鈴木伸夫です。どうぞよろしく。「鈴木伸夫って何者？」と思われる人はインターネットの「ウィキペディア」をごらん下さい。会社の一年先輩だった伊奈かつぺい先輩風に略歴を言えば、「昭和23年、函館に生まれ 現在に至る。以上略歴でした」と言ったところでしょうか！函館市に誕生後、サラリーマンだった父親の転勤で約5年に一度、全国各地を転々としました。幼稚園時代は小樽市、小学校時代は愛知県の豊橋市、中学・高校時代は名古屋市、大学時代は仙台市で過ごしました。そして、昭和45年4月、青森放送へアナウンサーとして入社。以来40年間放送業務に携わってきました。なかでも23年間のアナウンサー時代に制作した映画音楽の番組は、音楽だけでなく、映画をいろいろな角度から分析し、「ラジオで映画を観せる」を目的に試行錯誤して作ったもので、その結果、出来上がったのが「伸^{ケン}さんのシネマテーク^{ナイン}9」です。

(平成14年4月1日(月)～平成20年6月28日(土)。計317回放送)

番組のイントロダクションは

Qタイトル(女子アナ)

(途中からエコーになる)

「^{ソフ}伸さんのシネマテーク9」^{ナイン}

♪ 前テーマ曲スタート

(イタリアの作曲家アルマンド・トロヴァヨリーが音楽を担当した70年製作・エットーレ・スコラ監督のイタリア映画「ジェラシー」から「月一度の幸せ」が流れる。)

前テーマ曲がBGMとなり

Qナレーションのアナウンス(鈴木伸夫)

「映画は世界の共通語

映画は文化のバロメーター

月に一度は劇場で

いい映画を観たいものですねエ

そんな映画ファンのあなたに

素敵なスクリーンミュージックの

数々をお送りする

「シネマテーク9」^{ナイン}

午後10時までおつきあい下さい。

この番組は○○○の提供（前提供）でお送りします。

（ナレーション終わり、前テーマ曲アップ）

CMへ

この番組は、以前、私（以下ぼく）が制作した深夜ラジオのDJ番組を聞いていて、今は映画館の社長になっているNさんが「スポンサーになるから、もう一度DJを聞かせて！」というリクエストで始まったものです。タイトルの説明をしますと、「伸さん」とはぼくのこと。伸さんではありません。「ズームイン!!朝！」青森

の初代キヤスター担当の時、日本テレビの「徳トクさん」こと徳光和夫さんが番組で「青森の伸ノブさんへズームイン!!」と放送したのがきっかけです。「シネマテーク」とは、「フランス語で、映画の名作や文献などの資料を収集し保存する施設のこと。つまり、映画の図書館。あるいは、映画の博物館のことです。「9ナイン」は、番組スタート時は（毎週月曜日、午後9時から60分間の放送）午後9時からオンエアだったので「9ナイン」。縮めて「伸さんのシネマテーク9」となるわけです。

番組では、50年代から60年代の映画音楽を中心に、まだCD化されていないサウンドトラックをレコード盤で放送し、「団塊の世代」つまり、ぼくと同輩の人にとつて懐かしい番組となりました。

さて、今回から「シネマテーク」ではなく「シネマトーク」、紙面から映画音楽が聞こえてくる、そんなエッセイにしたいと思います。次回をお楽しみに！

伸

（平成22年6月）